

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 26 年 10 月 28 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

| | |
|---|--------------------------------------|
| 実施団体 | |
| JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院 | |
| 企画名 | |
| 中濃厚生病院「がんの痛みについて考える日」 | |
| 事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など) | |
| 地域の診療所、医師会、市役所ロビー等にチラシの配布と案内ポスターの掲示を行った。 | |
| 当日の実施内容について | |
| 日時(期間) | 平成 26 年 10 月 2 日 |
| 実施場所 | JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院 正面玄関ロビー及び放射線棟 2 階講義室 |
| 参加人数 | 20 名 |
| 具体的な実施内容：10 月 2 日を「がんの痛みについて考える日」と定め、院内院外問わず地域の皆さんに対して緩和ケアについて知っていただく機会とし、現在がんによる苦痛を抱える方に対しては、当院における緩和ケアの取り組みを周知するために企画開催した。当日はポスター掲示、緩和ケア.net の緩和ケアに関する動画の上映、緩和ケア週間のチラシを配布させていただいた。当日は「当院で受けることができる緩和ケア」と「がんの痛みと上手にお付き合い」の 2 題について緩和ケア担当医師による市民公開講座を合わせて開催した。また、正面玄関ロビーでは薬剤師、医療相談員、がん分野の認定看護師の相談ブースを設け来場者の相談を受けた。 | |
| 効果について(アンケートの結果など) | |
| 市民公開講座のアンケート結果では「自分も 5 年前に胃がんで手術を受けて、主人も数か月前に胆管がんの手術をしたので、もしこれから再発とかした場合の事が心配で話を聞かせていただきました。これからの参考になると思います。」「麻薬に対する知識が間違っている事がわかったので良かった。」「今日はありがとうございました。痛みを我慢しない事を教わりました。」「とても良いお話しでありがとうございました。多くの方に聞かれたらとても良いと思います。」という回答がありました。施設内に掲示したポスターへの反響として、看護職員の緩和ケアに対する意識の高まりを感じる言葉を多くいただきました。「緩和ケア大事だけど所属病棟ではできていないね。取り組みを強化しなくては。」という言葉も聞かれ、今後も機会を捉えて緩和ケア普及のために働きかけていく必要性を感じました。 | |

その他報告

※公式ホームページ（緩和ケア.net）への掲載について

掲載してもよい ・ 掲載しないでほしい)

- ポスター、チラシなどを作成した場合添付してください
- 当日の様子(当日配布資料、会場、イベント実施時の写真など)を添付してください
- 当日の動画をwebにあげてもよろしければ、データを送付ください

